

「大綱に掲げる施策」  
平成30年度の成果と課題

平成31年4月26日

安芸高田市総合教育会議

## 目 次

### 平成30年度の総括

#### 「安芸高田市教育に関する大綱」に掲げる施策

##### I 生きる力を育む教育の充実

###### (1) 確かな学力の向上

- ① 「安芸高田市学力向上戦略」の策定と推進

###### (2) 豊かな心の育成

- ① 郷土理解学習副読本の活用

###### (3) 国際教育の推進

- ① 多文化共生社会の推進

##### II 安全で豊かな教育環境の整備

###### (1) 学校施設・設備の整備

- ① 学校規模適正化に伴う学校施設・設備の整備

##### III 人がつながる生涯学習社会の実現

###### (1) 社会教育による人材の育成

- ① 社会教育活動の推進
- ② 貧困の負の連鎖をたちきる青少年教育・家庭教育支援

###### (2) 生きがいを育む文化・芸術活動の推進

- ① 文化芸術活動の推進

###### (3) 郷土愛を育む歴史遺産の保護と活用

- ① 指定文化財の保護・管理そして活用
- ② 甲立古墳の保存管理と活用
- ③ 伝統文化保存継承団体の支援

###### (4) 安芸高田の宝「トップスポーツ」の活用

- ① トップチームの応援観戦事業の推進
- ② トップアスリートとの交流事業の推進

## 平成30年度の総括

現在、安芸高田市教育委員会では、第2次安芸高田市教育振興基本計画～郷土（ふるさと）を想い 夢と志に向けて とともに学び続ける人づくり～に基づき教育振興に努めています。

「安芸高田市教育に関する大綱」は、本市教育が特に重視していく施策を展開していくための方向性について定められています。

ここでは、大綱に掲げる施策について、平成30年度に取り組んだ内容と課題等について取りまとめました。

### 「安芸高田市教育に関する大綱」に掲げる施策

#### I 生きる力を育む教育の充実

##### (1) 確かな学力の向上

###### ① 「安芸高田市学力向上戦略」の策定と推進

○安芸高田市においては、平成28年3月に策定した「安芸高田市学力向上戦略」に基づき、児童・生徒が広島県内でトップレベルの学力を身に付けることができるよう、小・中学校教職員の協働による教育、9年間を見通した一貫性のある指導により、児童・生徒の確かな学力の向上に努めています。

○平成30年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果については、7ページのとおりですが、特に当該調査から見えた本市の課題に対して平成30年度は、学力向上対策委員会を設置し「学力向上対策<sup>※8ページ</sup>」に取り組みました。

##### (2) 豊かな心の育成

###### ① 郷土理解学習副読本の活用

○安芸高田市で学んだ児童・生徒が、郷土（ふるさと）安芸高田市を誇りに思い、将来、安芸高田市外あるいは国外で活躍するようになっても、「いずれは帰って安芸高田市に貢献したい」安芸高田市に帰れなくても「安芸高田市の発展を応援したい」と思うことのできる教育を進めています。

○平成30年度は、初めて「安芸高田郷土（ふるさと）学交流会<sup>※9ページ</sup>」を開催しました。

この交流会のねらいは、

(1) 自分の地域の良さや特徴についての理解と自分の地域以外の安芸高田の良さを学ぶ。

(2) テーマ、発表内容の企画・運営を児童生徒が行い、主体性を育てる。  
というものでした。

郷土理解学習については、平成30年度から「安芸高田郷土（ふるさと）

学」として位置づけ、社会や総合的な学習の時間において充実を図ってきており、その成果の発表の場として交流会を開催しました。

その結果、交流会のねらいを満足する極めて意義深い交流会になりました。

### (3) 国際教育の推進

#### ① 多文化共生社会の推進

- 小中学校に英語を母国語とする英語指導助手（ALT）の派遣やICTの積極的な活用により、英語教育の充実を図り児童生徒の英語力の向上を目指し取り組みを進めてきました。
- 特に来年度からの学習指導要領の改訂による小学校外国語（英語）の教科化に対応するため、本市では平成30年度からALTを派遣契約に切り替え、授業以外の時間も学校に滞在できるようにしました。このことにより、さまざまな学校行事（給食指導・掃除時間・他教科の授業等）にも参加できることとなり、児童生徒や学校教職員とのコミュニケーションの機会が増え、コミュニケーション能力の充実、4技能（読む・聞く・話す・書く）のうち、これまで取組みが難しかった話すこと（スピーキング）、聞くこと（ヒアリング）の充実が図れるようになりました。
- また、中学校生徒を対象に、いわゆる「英検」受験者に対して年1回受験料を公費負担する取組みを平成29年度から実施しています。平成30年度は、公費負担を受けた生徒数が全体の95.8%、3学年で3級以上を取得している生徒の割合が33.7%という結果でした。
- さらに、異文化や異言語の体験を通して外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図るため、平成30年度においても青少年海外派遣事業<sup>※10ページ～11ページ</sup>を実施しました。

## II 安全で豊かな教育環境の整備

### (1) 学校施設・設備の整備

#### ① 学校規模適正化に伴う学校施設・設備の整備

- 児童生徒が減少<sup>※12ページ</sup>する中、望ましい教育環境を将来にわたって維持していくため、学校規模適正化推進計画に基づき、小学校の規模適正化<sup>※13ページ</sup>を進めています。また、その進捗状況により、学校施設・設備の整備<sup>※14ページ</sup>も行なっています。
- また、急速に進む情報化や国際化に対応できる人材の育成と、ICT教育環境の実現へ向けて、小・中学校の全学級へ電子黒板及びタブレット端末等を計画的に整備<sup>※14ページ～15ページ</sup>しています。

### Ⅲ 人がつながる生涯学習社会の実現

#### (1) 社会教育による人材の育成

##### ① 社会教育活動の推進

○平成30年度においてもこれまでと同様、高齢者大学<sup>※16ページ</sup>、市民セミナー、夏休み子ども教室、わくわく子ども理科教室、英検道場等多種多様な市民の学習欲求に応じた学習機会の提供を行い、生涯にわたって学習し続け、自己の成長に積極的に取り組む人材の育成と学習成果をまちづくりに活かす取組みを推進しました。

##### ② 貧困の負の連鎖をたちきる青少年教育・家庭教育支援

○平成30年度においても、学習の遅れがちな児童・生徒等に対して、家庭・学校・地域の連携を図り、地域の教育力を活用し生きる力を育むため、公営塾による家庭学習支援（地域未来塾<sup>※17ページ～18ページ</sup>）等に取り組み、児童・生徒の家庭学習習慣の確立を支援しました。

#### (2) 生きがいを育む文化・芸術活動の推進

##### ① 文化芸術活動の推進

○文化・芸術の拠点施設として、旧町単位に整備されている文化ホールを拠点として、市民の楽しみ、生きがい、心身の健康づくりのため、旧町において文化祭等<sup>※19ページ</sup>を開催しています。

#### (3) 郷土愛を育む歴史遺産の保護と活用

##### ① 指定文化財の保護・管理そして活用

○文化財の価値について、周知や理解を深めるため、平成30年度はこれまでに引き続き「広報あきたかた」で、安芸高田歴史紀行と題し、「お城拝見!」、「博物館コレクション」、「あの日の記憶は写真の中に」のシリーズで啓発を図りました。また、市歴史民俗博物館で春季・秋季の企画展を開催しました。

・春季：中世の刀と安芸高田

・秋季：宍戸隆家生誕500年記念 安芸宍戸氏～毛利一族、四本目の矢～

##### ② 甲立古墳の保存管理と活用

○平成28年3月国史跡に指定された甲立古墳については、平成28年度・平成29年度の2か年で「史跡甲立古墳保存活用計画<sup>※20ページ</sup>」を、平成30年度には、「史跡甲立古墳整備基本計画<sup>※20ページ</sup>」を策定しました。

○今後は、保存に必要な土地の公有化を推進するとともに、地元地域との連携を図りながらソフト事業を含め整備を進めていきます。

### ③ 伝統文化保存継承団体の支援

○平成30年度に実施した伝統文化保存団体への支援内容は20ページのとおりです。

○また、計画的にビデオ映像で活動の様子を保存することとしていますが、平成30年度においては、以下の伝統行事を撮影しました。

- ・吉田町子供歌舞伎
- ・春日神社（甲田町高田原）神儀

## (4) 安芸高田の宝「トップスポーツ」の活用

### ① トップチームの応援観戦事業の推進

○平成30年度実施した「サンフレッチェ広島」及び「ワクナガレオリック」の応援観戦事業については20ページのとおりです。

### ② トップアスリートとの交流事業の推進

○次世代のトップアスリートの発掘・育成をめざすべく、子どもカヌー教室<sup>※21ページ</sup>やBMX教室<sup>※22ページ</sup>等の交流事業を開催しました。

○また、平成30年度には「学校法人日本体育大学と安芸高田市との体育・スポーツ振興に関する協定<sup>※23ページ</sup>」を締結しました。

今後はこの協定に基づき、トップアスリートが持つ高い知識や指導力を生かしてスポーツ指導者のレベルアップに努め、競技スポーツの裾野の拡大とアスリートの育成基盤の強化を図ります。

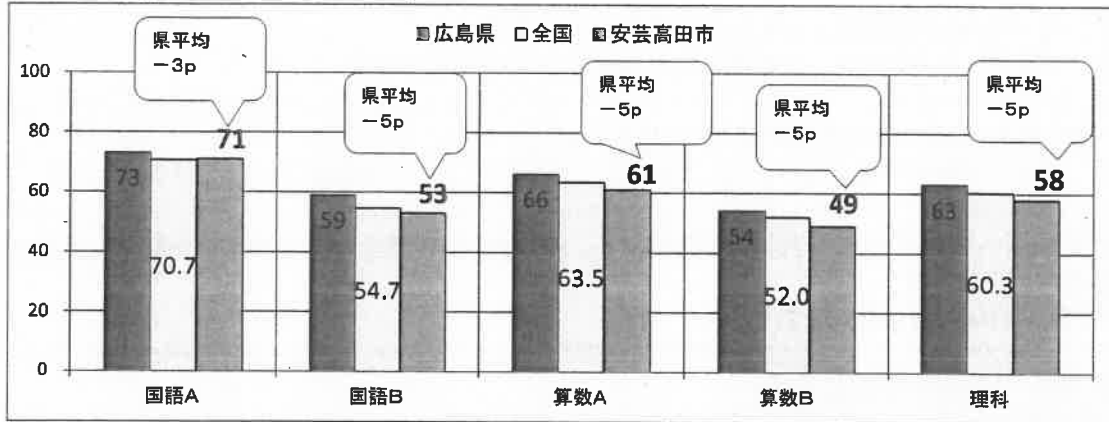
# 平成30年度実施学力調査結果

全国学力・学習状況調査：平成30年4月17日実施

小学校第6学年

国語・算数・理科

平成30年8月31日 作成



## 【国語】

・国語A(知識)については、平均正答率が70%を超えており、基礎的・基本的な内容は概ね定着している。領域別では、「話すこと・聞くこと」は平均正答率が90%、「読むこと」は70%を超えていることから、概ね定着している。

・国語B(活用)については、課題がある。

・「文章全体の構成の効果を考える(書くこと)」「考えをまとめる」「内容の中心を明確にして詳しく書く」など、「書くこと」に関する設問に課題がある。

## 【算数】

・算数A(知識)、算数B(活用)ともに課題がある。領域別では、「数量関係」に課題がある。「二つの数量の関係」「百分率を求める」「示された数量を関係付けて記述する」

## 【理科】

・課題がある。領域別では、「エネルギー」に課題がある。

・「予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験構想する」「ろ過の適切な操作方法」

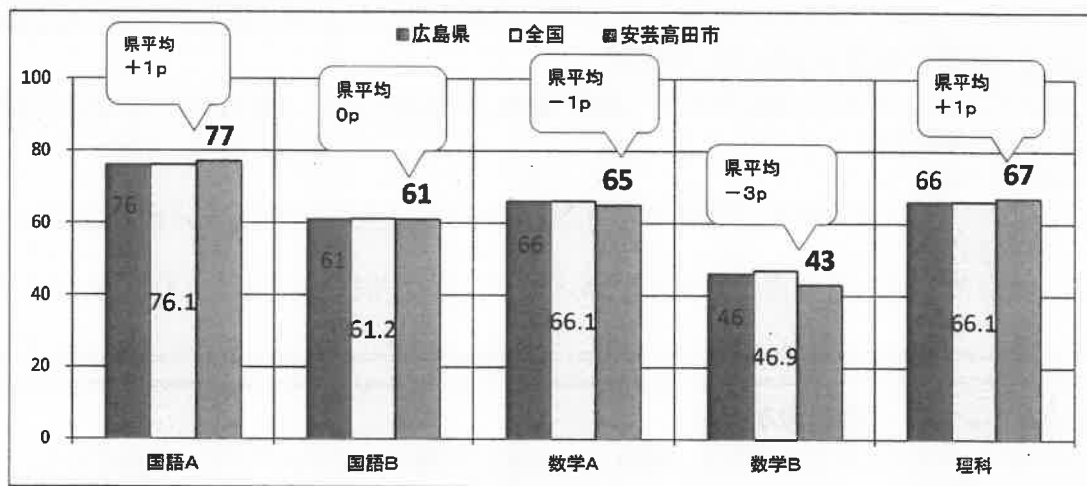
## 【質問紙】

・「友達と話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしている」の項目の肯定的回答 79.2(県平均+0.8p)

・「教科が好き」の項目の肯定的回答 算数…55.3(県平均-8.4p) 理科…73.9(県平均-8.9p)

中学校第3学年

国語・数学・理科



## 【国語】

・国語A(知識)については、平均正答率が70%を超えており、領域別でも70%を超えていることから、基礎的・基本的な内容は概ね定着している。

・国語(活用)については、県平均同等の平均正答率であるが、「書くこと」の領域で課題が見られる。・「構成を考えて書く」「内容を整理して書く」

## 【数学】

・数学A(知識)、数学B(活用)ともに課題がある。領域別では、「資料の活用」に特に課題が見られる。

「絶対値の意味の理解」「確率の意味の理解」「必要な情報を選択し、的確に処理すること」

## 【理科】

・県平均を上回っているが、課題がある。領域別では、「地学的領域」に課題が見られる。・「天気の特徴や条件制御などの知識・技能を活用すること」

## 【質問紙】

・「友達と話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしている」の項目の肯定的回答 84.2(県平均+3p)

・「教科が好き」の項目の肯定的回答 数学…52.5(県平均-4.8p) 理科…59.6(県平均-2.1p)

## 平成30年度に取り組んだ「学力向上対策」について

### ○全国学力量習状況調査から見た安芸高田市の課題

- ① 学習意欲を引き出す、必要感の持てる授業づくりができていない。
- ② 授業中で「学び合い」を取り入れるが、そこから再度学んだことを個に戻す取組み、例えば振り返ったり、書いてまとめたりすることができていない。
- ③ 進捗管理を通じて一人ひとりに結果が出るまでやりきること(個を鍛えること)ができていない。

### ○上記課題への対応を全市共通して実施する。さらに進捗管理を確実にを行うこと通して、児童生徒の着実な学力向上を目指す。

その具体的な内容は次のとおり。

#### 取組1 目標の設定と共有

(取組内容)市学テ、単元テスト等の目標値を設定し、児童生徒と共有する。

(具体的な内容)

- ① 昨年度の市学テを基に、各学年の目標値を設定する。
- ② 単元テストや中間テスト等の目標値を設定する。
- ③ 取組を行う中で、伸び悩んでいる児童生徒については、目標に基づいて面談を行う。

#### 取組2 個人カルテの作成

(取組内容)個に焦点を当てて、カルテを作成し、学力の実態や伸びを把握する。

(具体的な内容)

- ① 各学級で1名～2名程度、児童生徒を指定する。
- ② 前年度の市学テや単元テスト等を基に目標値を立てる。
- ③ 目標値や単元テストの結果、効果があった取組、変容などをカルテに記載する。
- ④ 学年会や企画会等で進捗管理を行う。

#### 取組3 問題の整理と繰り返しテスト

(取組内容)過去3年間の全国学カテ、「基礎・基本」の問題を分析し、該当学年(小学校3学年以上)の単元末等で問題を解く。

(具体的な内容)

- ① 過去3年間の全国学テ、「基礎・基本」の問題が、どの学年のどの単元で学習する問題かを整理し、一覧表を作成する。
- ② 一覧表を基に、今年度の実施学年である6年生、中学校3年生、該当学年においてその設問を解かせる。

#### 取組4 学力アップ問題の共有

(取組内容)各校がこれまでに作成、実施している類似問題や学力アッププリントを共有する。

(具体的な内容)

- ① 各校で作成、実施している類似問題、学力アッププリント、期末テスト問題等、学力調査や学力アップに効果があると思われる教材のデータを共有フォルダに格納する。
- ② 各校では、実態に応じて適宜①について活用する。

※全国学力・学習状況調査を「全国学テ」、広島県「基礎・基本」定着状況調査を「基礎・基本」、安芸高田市総合学力調査を「市学テ」と表記している。



郷土を想い 夢と志に向けて とともに学び続ける人づくり

**立志**

- 高い志をもち続ける子供
- 夢と希望をもち続ける子供
- 自ら学び続ける子供

**活力**

- 体を動かすことをいとわない子供
- すすんで人とかかわり合う子供
- 自ら学び続ける子供

**協働**

- ともに学び続ける子供
- すすんでみんなのために行動する子供
- きまりやルールを守る子供

**郷土愛**

- 安芸高田に自信と誇りをもつ子供
- 安芸高田で学んでよかったと思う子供
- 安芸高田を知り、よさを感じる子供

安芸高田郷土（ふるさと）学交流会

安芸高田郷土（ふるさと）学

安芸高田の郷土の自然・伝統文化・産業・暮らし・人について学ぶことを通して、郷土に愛着と誇りを持ち、自らの生き方を考える学習

- 地域教材、地域の人材の活用
- 探究活動の充実
- 子供の自主性、主体性を生かす

- 郷土の自然・歴史・伝統文化・産業・暮らし・人について学ぶことを通して 郷土の素晴らしさに気付かせ、郷土に愛着をもち、誇りに思う心を育てる。
- 郷土の自然・歴史・伝統文化・産業・暮らし・人について学ぶことを通して、自らを見つめ、自らの生き方を振り返ったり考えたりする。
- 「学びの変革」アクションプランと連動し、「安芸高田ふるさと学」を通して協働して課題を探究する力を育てる。

各教科

総合的な  
学習の時間

特別活動等

## 平成30年度安芸高田市青少年海外派遣事業概要

- 主 催 安芸高田市教育委員会
- 後 援 特定非営利活動法人安芸高田市国際交流協会
- 事業趣旨 安芸高田市の中学生を海外に派遣し、異文化や異言語を体験し、それを理解し、習得する活動を行うことにより、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図り、もって今日の国際社会において、相手の立場を尊重しつつ自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を養成する。
- 派遣先 ニュージーランド国 セルウィン町及びその周辺地域
- 派遣期間 平成30年8月11日（祝）～8月20日（月）
- 派遣団の構成 安芸高田市立中学校2・3年生20名、引率2名 計22名
- 主な交流内容
  - ・姉妹都市セルウィン町長表敬訪問
  - ・姉妹校ダーフィールドハイスクールとの交流
  - ・ホームステイ7泊

## 平成30年度安芸高田市青少年海外派遣事業参加者名簿

	氏 名	性別	所屬及び学校名	ホストファミリー
団 長	坂 本 積	男	美土里中学校 校長	Avis & Doug Hewson
副団長	大 田 文子	女	学校教育課	Avis & Doug Hewson
団 員	小又 里音	男	吉田中学校2年生	Leonie & Daren Elliot-Mason
	塩崎 和香子	女	吉田中学校2年生	Mary & Alec Brooks
	土河 穂香	女	吉田中学校2年生	Patricia & Garfield Poldermann - Charles
	森上 洋子	女	吉田中学校2年生	Patricia & Garfield Poldermann - Charles
	生田 愛佳	女	吉田中学校3年生	Mary & Alec Brooks
	岩井 智明	男	吉田中学校3年生	Leonie & Daren Elliot-Mason
	佐藤 梓	女	吉田中学校3年生	Debbie & Glenn Sparrow
	粟津 瑞葵	女	美土里中学校2年生	Stephanie & Bruce Cullen
	中迫 吹衣	女	美土里中学校2年生	Elizabeth & Jason Berge
	奥田 愛結	女	美土里中学校3年生	Elizabeth & Jason Berge
	小笠原 千夏	女	高宮中学校3年生	Sharon Morrison & Jaco duPlessis
	出張 礼悟	男	高宮中学校3年生	Kathryn & Clinton Taylor
	高橋 佳歩	女	甲田中学校2年生	Yvonne & Rene Wijnhout
	藤井 彩花	女	甲田中学校2年生	Yvonne & Rene Wijnhout
	有田 美海	女	向原中学校2年生	Keroli & Patrick Smith
	俵 巧磨	男	向原中学校2年生	Tania & Peter Campen
	三木 虎白	男	向原中学校2年生	Tania & Peter Campen
	安木 真美華	女	向原中学校2年生	Keroli & Patrick Smith
佐賀 綾花	女	向原中学校3年生	Elaine & John Guy	
内藤 健太	男	向原中学校3年生	Kathryn & Clinton Taylor	

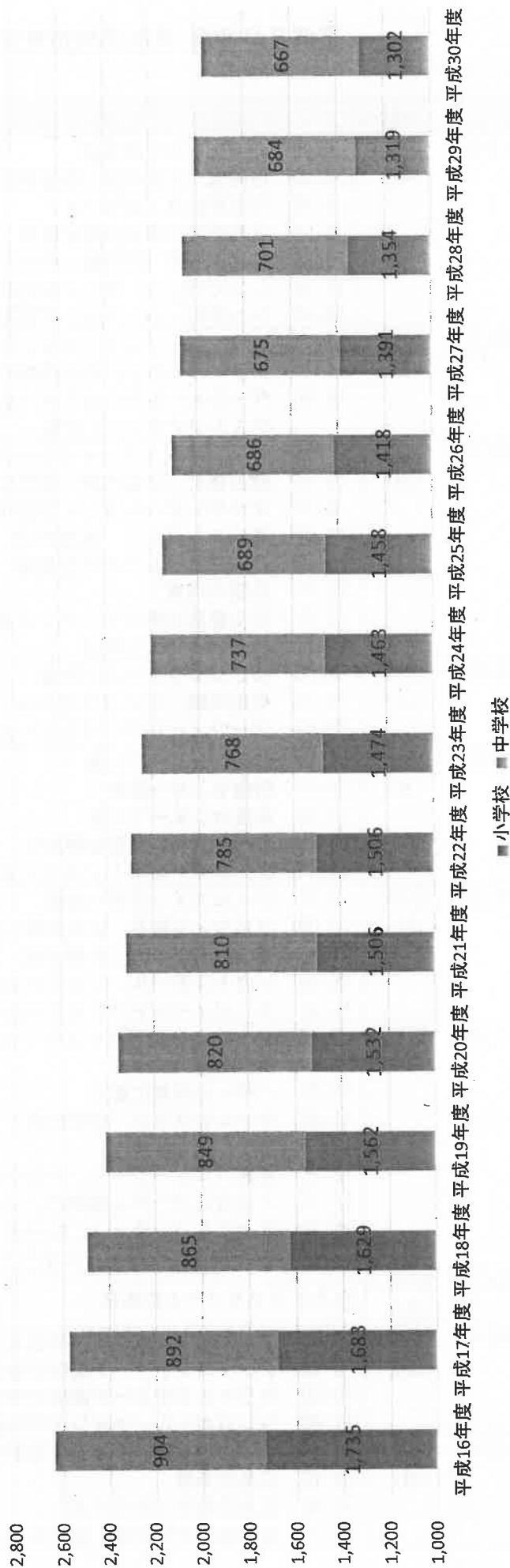
**平成30年度 安芸高田市青少年海外派遣事業日程**

	日付	内 容
1日目	8/11 (祝)	6:00 安芸高田市役所集合 6:20 出発式(生徒代表・団長挨拶) 6:45 市役所出発(貸切バス) 8:00 広島空港到着後出国手続き 10:25 広島空港発(飛行機:MI867)(飛行時間6:20) 15:45 シンガポール・チャンギ国際空港着(待ち時間4:00) 19:45 シンガポール・チャンギ国際空港発(飛行機:SQ297)(飛行時間9:45)
2日目	8/12 (日)	9:30 ニュージーランド・クライストチャーチ国際空港着 クライストチャーチ市内博物館など見学・昼食 15:30 ダーフィールドハイスクール到着 ホストファミリーと対面(ホームステイ泊)
3日目	8/13 (月)	8:45 ダーフィールドハイスクールに登校 9:00 歓迎朝礼(生徒代表・団長挨拶) 9:30 オリエンテーション、学校内見学 11:00 モーニングティ 休憩時間 11:20 ダーフィールドの町を散策 12:25 英語の授業 13:25 文化委員の学生やパディと昼食 14:15 パディの授業に参加
4日目	8/14 (火)	9:00 ルビコンファームに出発 9:30 乗馬体験、ジェットボート、羊の毛刈り体験、昼食 15:00 ダーフィールドハイスクールへ戻る
5日目	8/15 (水)	9:00 南極センターに出発 9:45 南極センター見学 12:30 南極センターで昼食 13:30 ウイローバンク動物園見学 15:00 ダーフィールドハイスクールへ戻る
6日目	8/16 (木)	9:00 ロールストーン庁舎へ出発 10:00 セルウィン町長 表敬訪問(生徒代表・団長挨拶) 11:30 クッキータイム(お菓子店)見学 12:30 リカトンモール ショッピング(※昼食は各自) 15:00 ダーフィールドハイスクールへ戻る
7日目	8/17 (金)	8:45 ダーフィールドハイスクールに登校 9:00 英語の授業 10:00 パディの授業に参加 11:00 モーニングティ 休憩時間 11:25 マオリ文化学習 13:25 昼食(ニュージーランドの学生と千羽鶴作り) 14:15 さよならパーティ準備やパフォーマンスの練習 18:30 さよならパーティ(生徒代表・団長挨拶) ホストファミリー、先生方とお別れ会
8日目	8/18 (土)	ホストファミリーとの休日
9日目	8/19 (日)	7:30 クライストチャーチ国際空港へ出発 8:20 クライストチャーチ国際空港着 10:50 クライストチャーチ国際空港発(飛行機:SQ298)(飛行時間10:50) 17:40 シンガポール・チャンギ国際空港着(待ち時間8:05)
10日目	8/20 (月)	1:45 シンガポール・チャンギ国際空港発(飛行機:MI868)(飛行時間6:15) 9:00 広島空港着 10:00 広島空港発(貸切バス) 11:30 安芸高田市役所着・解散式

児童・生徒数の推移グラフ（平成16年度～平成30年度）※各年度学校基本調査の数値による

年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	1,735	1,683	1,629	1,562	1,532	1,506	1,506	1,474	1,463	1,458	1,418	1,391	1,354	1,319	1,302
中学校	904	892	865	849	820	810	785	768	737	689	686	675	701	684	667
合計	2,639	2,575	2,494	2,411	2,352	2,316	2,291	2,242	2,200	2,147	2,104	2,066	2,055	2,003	1,969

児童・生徒数の推移



## 学校規模適正化推進事業の状況

### 1. 概要

年度	内容	備考
平成 21 年度	安芸高田市学校規模適正化委員会設置 (23 名) <諮問> 教育長から委員会へ ○「急速に進展する少子化社会の中で、教育効果を高め、将来展望に立った教育行政を進めていくための小中学校の適正な規模及び配置のあり方について」	
平成 22 年度	<答申> 委員会から教育長へ ○9 回の開催を経て適正な規模と配置のあり方について⇒「望まれる学校規模は、1 学年複数学級、1 学級 20～30 名程度」 ■安芸高田市学校規模適正化計画 (第 1 期) 策定 (H23 年度～H27 年度の 5 年間)	■13 小学校 →7 校に再編 ■6 中学校 →2 校に再編
平成 23～ 25 年度	計画内容や統合準備委員会の設置について、保護者・地域との説明会を開催	
平成 26 年度	4 地区のうち、3 地区で統合準備委員会設置	
平成 27 年度	■安芸高田市学校規模適正化計画 (第 2 期) 改定	■中学校の校数を再検討
平成 28 年度～	第 2 期計画期間開始 (H28 年度～H32 年度の 5 年間)	
平成 30 年度	八千代地区:八千代小学校開校 甲田地区:甲田小学校開校	2 校→1 校 3 校→1 校
平成 31 年度	可愛・郷野地区:愛郷小学校開校	2 校→1 校
令和 2 年度	高宮地区:高宮小学校開校予定	2 校→1 校

### 2. 各地区統合準備委員会の開催状況等 (平成 31 年 4 月現在)

01 可愛・郷野地区 平成 31 年 4 月統合	02 八千代地区 平成 30 年 4 月統合	03 甲田地区 平成 30 年 4 月統合	04 高宮地区 令和 2 年 4 月統合
平成 26 年 6 月 11 日 準備委員会設置 平成 28 年 12 月 22 日 条例 議会議決 ■統合準備委員会 22 回開催 ■統合後の児童数等 204 人 全 9 クラス (普通 7・特支 2)	平成 26 年 5 月 30 日 準備委員会設置 平成 28 年 3 月 9 日 条例 議会議決 ■統合準備委員会 24 回開催 ■統合後の児童数等 169 人 全 8 クラス (普通 6・特支 2)	平成 26 年 6 月 10 日 準備委員会設置 平成 28 年 3 月 9 日 条例 議会議決 ■統合準備委員会 21 回開催 ■統合後の児童数等 238 人 全 10 クラス (普通 8・特支 2)	平成 30 年 8 月 10 日 準備委員会設置 平成 31 年 3 月 15 日 条例 議会議決 ■統合準備委員会 ※継続協議中

### 教育環境の整備状況(平成27年度～平成32年度)

整備内容		区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 (令和2年度)
ICT機器 ※教育のICT 化推進事業に 係る機器整備 5カ年計画(H 28～H32)	電子黒板・ 実物投影機 (書画カメラ)	小学校	向原(モデル)6	吉田12 美土里6	根野(統合)7 甲立(統合)8	可愛7 川根3 来原6 船佐5		
		中学校	向原(モデル)3				吉田9 八千代3 美土里3 高宮3 甲田3	※来原6を中学 校理科教室へ 移設(R2.4以 降)
	タブレット端末	小学校					吉田40 愛郷40 八千代40 美土里30 川根10 来原10 船佐20 甲田40 向原30	
		中学校					吉田40 八千代30 美土里30 高宮30 甲田40 向原30	
空調設備	普通教室	小学校			根野(改修) 甲立(改修)	吉田 可愛(改修) 美土里 川根 来原 船佐 向原		
		中学校			吉田 八千代 美土里 高宮 甲田 向原			
	特別教室	小学校				可愛(改修)	吉田 八千代 美土里 船佐(改修) 甲田 向原 ※H30繰越	※来原普通教 室の空調を川 根特別教室へ 移設(R2.4以 降)
		中学校					吉田 八千代 美土里 高宮 甲田 向原 ※H30繰越	

**(平成31年度の整備内容)**

- 電子黒板を全中学校へ整備します。
- タブレット端末を全小中学校へ整備します。
- エアコンを小学校と中学校へ整備します。

## ICT教育推進モデル校等における検証結果について

平成27年度より取組みを進めてきたICT教育推進事業において、普通教室に電子黒板を整備した向原小学校・向原中学校（モデル校）等の検証結果については次のとおり。

### 1 成果等

#### (1) 児童生徒アンケートの結果（平成28年度）

「電子黒板を使った授業のほうが黒板だけの授業より分かりやすい、集中できる、考えを深めることができる」といった項目で「そう思う」と答えた児童生徒が多かった。この結果から、電子黒板が児童生徒の授業理解度を深めるためのツールとして有効であると同時に、導入により児童生徒の授業に対する取組姿勢に好影響を与えた点で成果が高い。

（「とても思う」と「少し思う」の合計割合）

電子黒板を使った授業のほうが黒板だけの授業より、	向原小学校	向原中学校
分かりやすいか。	98%	98%
集中して学習に取り組むことができるか。	92%	86%
自分の考えを深めることができるか。	92%	85%

#### (2) 教職員アンケートの結果（平成29年度）

平成27年度に整備した向原小学校・向原中学校（モデル校）並びに平成28年度に整備した吉田小学校、美土里小学校の教職員に対して実施したアンケートの結果から、以下の成果が認められた。

（「とても思う」と「少し思う」の合計割合）

ICTを活用した授業が、	向原小学校・向原中学校・ 吉田小学校・美土里小学校
理解を高めることに効果的か。	100%
意欲を高めることに効果的か。	100%
授業準備の負担が軽減したことで、児童生徒に関わる時間は増えましたか？	87%

#### （具体的な意見など）

- 図形や写真を写しだすことにより子どもの理解が深まっている。
- ICTを活用することでグループ活動がより充実し生徒の説明力UPにつながる。
- ICTの導入により、子供達の学習の理解度、学習への意欲が高まった。
- 拡大提示できるようになり日々の教材作りの負担が軽減した。
- 児童に前時の授業内容をすぐに見せることができるので大変助かっている。また、児童の目線が統一され意欲の高まりにつながっている。
- ICTを活用することで自分の考えを表現することに対する意欲が高まっている。

### 2 課題・要望等（平成29年度教職員アンケートの結果から）

- 無線LANの環境を整えデジタル教科書もあわせて導入することでもっと利活用しやすくなる。
- カメラで撮った画像を子供達のタブレットに送れるようになるとさらに利便性が高まる。
- タブレットでインターネットの使用が自由になればと思う。
- 特別支援学級で活用しやすいソフトの導入を。
- 授業準備の効率化や生徒の練習のスピードアップ、さらには授業内容の工夫や充実により生徒の力を伸ばすことにつながられる。
- 利用しやすいソフトの導入に配慮を。
- もっと活用方法など研究してしっかり活用していきたい。
- 児童一人ひとりにタブレットがあるとさらに活用がひろがる。

事業実施報告（平成30年度安芸高田市高齢者大学）

<p>開催日時 講座名 開催場所 内容等</p>	<p>○三矢大学 : 10講座/年間 ○八千代大学 : 9講座/年間 ○美土里大学 : 9講座/年間 ○高宮福寿大学 : 7講座（午前・午後の部合計13回）/年間 ○甲田大学 : 8講座/年間 ○向原寿大学 : 8講座/年間</p> <p align="right">合計：51講座/年間</p>
<p>学生数</p>	<p>○三矢大学 : 254人 ○八千代大学 : 144人 ○美土里大学 : 75人 ○高宮福寿大学 : 103人 ○甲田大学 : 84人 ○向原寿大学 : 137人</p> <p align="right">合計：797人</p>
<p>参加者数</p>	<p>○三矢大学 : 1,346人 参加率52.9% ○八千代大学 : 440人 参加率33.9% ○美土里大学 : 314人 参加率46.5% ○高宮福寿大学 : 336人 参加率46.6% ○甲田大学 : 394人 参加率58.6% ○向原寿大学 : 461人 参加率42.0%</p> <p align="right">合計：3,291人</p>
<p>事業費</p>	<p>歳出 ○報償費 155,640円 ○旅費 1,100円 ○費用弁償 5,500円 ○需用費（消耗品費） 8,800円 ○委託料 180,000円</p> <p align="right">合計：351,040円</p>
<p>所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西日本豪雨災害の影響により、三矢大学・八千代大学が1講座ずつ中止となった。</li> <li>・音楽講座は学生に人気があるが、著作権に注意して実施する必要がある。</li> <li>・研修旅行について、参加者の年齢が上がっていることもあり事故や怪我に注意する必要がある。研修旅行の実施自体見直す時期にきていると考える。</li> <li>・各大学の年齢構成、入学の動機や参加手段、対象年齢や学びたい講座について共通のアンケートを実施した。次年度以降の大学の運営等に生かしていきたい。</li> </ul>



## 平成30年度 地域未来塾 実施報告

項 目	状 況																																																																												
開 講 期 間	平成30年5月22日(火)～平成31年3月18日(月)																																																																												
開 講 日	毎週月・木曜日または火・金曜日(長期休業期間中土曜日)																																																																												
講 座 回 数	平日：1校あたり平均57回 長期休業期間中：各会場3回																																																																												
開 講 時 間	平日：16時30分～18時00分(1時間30分) 長期休業期間中：9時30分～11時00分(1時間30分)																																																																												
場 所	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学校名</th> <th style="text-align: center;">会場</th> <th style="text-align: center;">長期休業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉田小学校</td> <td>PC室</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">クリスタルアーショ</td> </tr> <tr> <td>可愛小学校</td> <td>図書室</td> </tr> <tr> <td>郷野小学校</td> <td>家庭科室</td> </tr> <tr> <td>八千代小学校</td> <td>PC室</td> <td style="text-align: center;">八千代フォルテ</td> </tr> <tr> <td>美土里小学校</td> <td>会議室(まなび)</td> <td style="text-align: center;">美土里まなび</td> </tr> <tr> <td>川根小学校</td> <td>Englishルーム</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">高宮田園パラッツォ</td> </tr> <tr> <td>来原小学校</td> <td>洋室</td> </tr> <tr> <td>船佐小学校</td> <td>会議室</td> </tr> <tr> <td>甲田小学校</td> <td>図書室</td> <td style="text-align: center;">甲田ミュージズ</td> </tr> <tr> <td>向原小学校</td> <td>図書室</td> <td style="text-align: center;">向原みらい</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	会場	長期休業期間	吉田小学校	PC室	クリスタルアーショ	可愛小学校	図書室	郷野小学校	家庭科室	八千代小学校	PC室	八千代フォルテ	美土里小学校	会議室(まなび)	美土里まなび	川根小学校	Englishルーム	高宮田園パラッツォ	来原小学校	洋室	船佐小学校	会議室	甲田小学校	図書室	甲田ミュージズ	向原小学校	図書室	向原みらい																																															
学校名	会場	長期休業期間																																																																											
吉田小学校	PC室	クリスタルアーショ																																																																											
可愛小学校	図書室																																																																												
郷野小学校	家庭科室																																																																												
八千代小学校	PC室	八千代フォルテ																																																																											
美土里小学校	会議室(まなび)	美土里まなび																																																																											
川根小学校	Englishルーム	高宮田園パラッツォ																																																																											
来原小学校	洋室																																																																												
船佐小学校	会議室																																																																												
甲田小学校	図書室	甲田ミュージズ																																																																											
向原小学校	図書室	向原みらい																																																																											
受 講 者	<p>104名(5・6年生対象)</p> <p>内訳：</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">5年</th> <th colspan="2">6年</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>吉田小</td><td>4</td><td>6</td><td>4</td><td>3</td><td>17</td></tr> <tr><td>可愛小</td><td>2</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td><td>14</td></tr> <tr><td>郷野小</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><td>八千代小</td><td>5</td><td>6</td><td>2</td><td>6</td><td>19</td></tr> <tr><td>美土里小</td><td>5</td><td>2</td><td>4</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>川根小</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>来原小</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>4</td><td>8</td></tr> <tr><td>船佐小</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>甲田小</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>11</td></tr> <tr><td>向原小</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>全 体</td><td>27</td><td>30</td><td>24</td><td>23</td><td>104</td></tr> </tbody> </table>		5年		6年			男	女	男	女	吉田小	4	6	4	3	17	可愛小	2	3	6	3	14	郷野小	3	0	3	0	6	八千代小	5	6	2	6	19	美土里小	5	2	4	0	11	川根小	0	0	2	0	2	来原小	1	3	0	4	8	船佐小	2	2	1	2	7	甲田小	2	6	1	2	11	向原小	3	2	1	3	9	全 体	27	30	24	23	104
	5年		6年																																																																										
	男	女	男	女																																																																									
吉田小	4	6	4	3	17																																																																								
可愛小	2	3	6	3	14																																																																								
郷野小	3	0	3	0	6																																																																								
八千代小	5	6	2	6	19																																																																								
美土里小	5	2	4	0	11																																																																								
川根小	0	0	2	0	2																																																																								
来原小	1	3	0	4	8																																																																								
船佐小	2	2	1	2	7																																																																								
甲田小	2	6	1	2	11																																																																								
向原小	3	2	1	3	9																																																																								
全 体	27	30	24	23	104																																																																								
講 師	<p>人数 30名</p> <p>内訳：一般16名(石丸賢太郎、牛尾美穂、河端佳世、吉川知江、木下敬子、桑岡明美、小島恵美子、竹本真弓、田中克枝、広瀬ゆみ子、前重夏未、宮本早苗、川本和暁、小野裕美、田中克弘、佐々木美保)</p> <p>学生14名(広島文教女子大学 ※内、わくわく学び隊7名)</p> <p>時間 平日 16時15分～18時15分(2時間) 長期休業期間中 9時15分～11時15分(2時間)</p> <p>謝金 1回3,000円(1時間1,500円×2時間)・交通費</p>																																																																												
出 席 率	平日 86.4% 長期休業期間中 25.6%																																																																												
開 講 ま だ の 取 り 組 み	<p>4/16 募集開始</p> <p>4/24 保護者説明会開催(1回・夜間)</p> <p>5/ 1 募集締め切り</p> <p>5/ 7 申込書集約</p> <p>5/15 講師説明会</p> <p>5/22 開講(火・金)</p> <p>5/24 開講(月・木)</p>																																																																												

項目	状況
支出関係	非常勤報酬 2,041,128 円 講師謝金 3,078,972 円 (内、交通費分 396,972 円) 消耗品費 7,818 円 合計 5,127,918 円
講座の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自宿題を持ち寄り個人学習</li> <li>・終了次第、各自自主学習</li> <li>・教委にて、プリントや問題集の提供はしていない。</li> </ul>
児童クラブとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童クラブ利用者の塾参加者の情報提供と協力依頼。</li> <li>・塾終了後、保護者の迎えまで利用可能。</li> </ul>
問題・諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に集中できず、騒ぐなどして他の児童の学習の妨げになった事案有り。学校と連携。</li> <li>・欠席時の保護者からの連絡忘れ。</li> <li>・長期休業期間中の児童出席率低。</li> </ul>

## ●重点的取組み

平成 30 年度 仕事目標 「学力向上推進事業」

・地域未来塾において、学校との連携により、受講生個々の苦手分野をフォローする仕組みを確立します。

平成 29 年度は、2 時間であった開講時間を、今年度から 1 時間 30 分とし、30 分間の短縮を図った。ただし、講師の業務時間は 2 時間のままとし、講座の準備はもとより、担任教諭等と、受講生個々の苦手分野の把握など、相互に連携を図る時間とした。このことにより、児童の確かな学力の定着を目指している。

平成 30 年度「地域未来塾」アンケート調査を実施。学校へのアンケートには、今年 1 月に実施された市総合学力テストの結果について、昨年度からの受講生の変化などを問う項目も加え、講師のよりきめ細やかな指導に反映させると同時に、事業の総合的な成果の検証を行う。

## ●来年度に向けての取組み

平成 30 年度「地域未来塾」アンケート調査実施。(対象：受講生、保護者、学校、講師) 課題や問題点等を把握し、今後の事業展開に活かす。

基本的には、現在の実施方法を継続し、5 月から全小中学校（9 校）で開講予定。

特に受講生募集の段階から、学校との連携を密にし、参加を推奨すべき児童の受講を促す取組みを重点的に行う。

## ●会場の様子

10 月 26 日 広島県教育委員会生涯学習課視察時



平成30年度 安芸高田市内各地区文化祭実施状況

地区	開催日	会場	タイトル	出演団体数 (出演者数)	出展団体数 (作品数)	来場者数
吉田町	H31.3.2~3	安芸高田市民文化センター	第45回 吉田文化祭	30 (354)	20 (360)	3,598
八千代町	H31.2.24	八千代文化施設 フォルテ	八千代の文化祭	10 (88)	2 (28)	200
美土里町	H30.11.18	美土里生涯学習センター まなび	第23回 美土里町民文化祭	16 (153)	—	200
高宮町	H31.3.10~17 (展) H31.3.10 (演)	高宮公園パラッツォ	たかみや文化祭	17 (126)	28 (340)	300
甲田町	H30.9.21~23 (展) H30.9.29 (演)	甲田文化センター ミュージズ	甲田町芸術祭	21 (227)	14 (191)	640
向原町	H31.3.10	向原生涯学習センター みらい	向原文化祭	23 (155)	—	150

## 甲立古墳保存管理と活用

### 1 史跡甲立古墳保存活用計画策定の経過と概要

保存活用計画策定委員会の開催		
第1回	平成28年12月22日(木)	5回開催 現地調査、資料把握等、策定委員会内での協議内容を踏まえ、文化庁及び広島県教育委員会の助言のもと計画策定作業を行う。
第2回	平成29年3月1日(水)	
第3回	平成29年6月23日(金)	
第4回	平成29年10月13日(金)	
第5回	平成30年1月23日(火)	

### 2 史跡甲立古墳整備基本計画の策定の経過と概要

整備基本計画策定委員会の開催		
第1回	平成30年11月6日(火)	4回開催 現地調査、資料把握等、策定委員会内での協議内容を踏まえ、文化庁及び広島県教育委員会の助言のもと計画策定作業を行う。
第2回	平成30年12月13日(木)	
第3回	平成31年2月4日(月)	
第4回	平成31年3月11日(月)	

## 伝統文化保存継承団体の支援

平成30年度伝統文化保存団体への支援			
名称	団体名	補助金 交付金額	内容
第40回 来原さんばい祭り	原田はやし田保存会	350,000円	平成9年12月、国の重要無形文化財に指定されている。 原田地方独特のふけ田に苦しんだ人々のもやい田植えの唄として伝承されてきた 平成30年5月27日実施
市入祭	吉田町子供歌舞伎・ 壇尻屋台保存会	350,000円	子供歌舞伎は340年余りの歴史があり、その伝統は昭和48年に発足した「吉田壇尻屋台子供歌舞伎保存会」によって受け継がれている。 平成30年5月5日実施

## トップチームの応援観戦事業

### サンフレッチェ広島

安芸高田市スポンサードゲーム(サンフレッチェ広島 VS V・ファーレン長崎)

日 時:平成30年8月11日(土) 19:00~

開催場所:エディオンスタジアム広島

参加人数:(1,613)人

### 湧永レオリック

第43回日本ハンドボールリーグ(湧永レオリック VS 琉球コラソン)

日 時:平成30年11月23日(金・祝) 14:00~

開催場所:湧永満之記念体育館

参加人数:81人(大人57人、小学生以下24人)

## 「平成 30 年度 子どもカヌー体験教室」事業実施報告書

実施事業名称	平成 30 年度 安芸高田市子どもカヌー体験教室
開催日時	平成 30 年 4 月 28 日（土） 8 時 00 分～13 時 00 分 1 回目 開始 9:00 終了 10:30（開始 8:30） 2 回目 開始 11:00 終了 12:30（開始 10:30）
開催場所	八千代湖（湖面利用研修センター集合）
参加対象者	市内小学校 3 年生～6 年生までの児童
参加者	1 回目 16 名（1 名当日飛び込み参加） 2 回目 10 名（1 名欠席）
学校別内訳	吉田小 3 名、可愛小 9 名、根野小 1 名、美土里小 1 名、 小田東小 2 名、向原小 4 名
参加料	1 人 1 教室 500 円
当日運営	安芸高田市カヌー協会（指導者 6 名、協会会員保護者 4 名） 生涯学習課 文化・スポーツ振興係（3 名）
準備	3 月中 次年度カヌー教室の日程調整、その他カヌー協会と各回参加者数 等打合せをした。 4 月 3 日 実施計画書起案 4 月 6 日 チラシ作成。学校への募集チラシ配布依頼（始業式に配れるよう に） ※教室実施日の協会会長の出席を確認→出席ならあいさつを依頼 ※秘書広報に実施する旨を連絡→記事は市教委で作成
所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 回の教室も参加者も時間内に受付を終え、スムーズに実施できた。</li> <li>・ 各教室でカヌーから落ちることはなかった。けがもなく無事に終えた。</li> <li>・ カヌー協会の指導者が今回は少なかった割に参加者が多かったことから、最初の陸上でのパドルの操作講習とところや接岸して乗り込むところで、指導者がいなくなると話を聞いていない子がいたりした。前回は 11 人と多く、ワンツーマンに近い状況で行なえたためよかった。という指摘であったのでカヌー指導者（カヌーできる大人）の育成も必要かと考える。</li> <li>・ カヌー教室の看板の補修が必要。</li> </ul>

## 「平成30年度 夏休み子ども教室 BMX教室」実績報告

事業名称	平成30年度 夏休み子ども教室 BMX教室
開催日時	平成30年8月7日(火) 【第1部】9時00分～10時30分(受付 8時30分～8時45分) 【第2部】11時00分～0時30分(受付 10時30分～11時45分)
開催場所	八千代湖湖畔BMXコース(はじ丸館下)
講師	広島県BMX協会 島田忠彦さん 中学生3人(島田さんの教え子)
参加者	小学生全学年 【第1部】15人(申込は16人、1人欠席:電話あり) 【第2部】14人
参加費	300円
前日対応状況	講師の島田さんがサイクリングターミナルを退職していたため、教室前日に自転車を広島競輪場(宇品)まで取りにいった。(16台)搬送車は八千代の丘美術館のトラックを借りた。
所感	<p>【教室での状況及び気づき等記録】</p> <p>○受付を今回は、第2部の受付をコース横で行ったが、混乱無くできた。</p> <p>○暑い日の教室であったため、教室では3回の休憩をとり水分補給した。(給水所を設置し麦茶とスポーツドリンクを用意した、参加者各自でも飲物を用意されていた。)</p> <p>○気分を悪くする人が1名いたが、日陰で休ませるなどして、途中から教室に戻られた。</p> <p>○コース内を転倒する参加者もいたが、教室が終わるまで続けた。</p> <p>第2部では初心者が多かったためか転倒者が多く、お腹を強打するなど泣く子もいたが、なんとか終わった。</p> <p>○参加者の中には、BMXに興味を持った人もおられ、BMXスクールのチラシを持って帰られた。</p> <p>○教室のプログラムの最後にコースを1周まわるのだが、何周もする参加者もいた。まだまだ走りたく楽しいと言っていた。</p> <p>○1部で使用したヘルメットなど2部の子に使用する際に、気温が高いせいもあり汗を多くかいていたので乾かしきれなかった。</p> <p>○参加者もプロライダーの実技が身近で見れるなどの経験ができ、よかったと思う。</p>

## 学校法人日本体育大学と安芸高田市との 体育・スポーツ振興に関する協定

安芸高田市と学校法人日本体育大学は、体育・スポーツの分野において、それぞれの有する教育資源を有効かつ適切に活用し、一層の発展並びにさらなる社会貢献を図ることを目的に、「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しました。

本協定では、伝統芸能である「神楽」の保存継承に向けて相互協力も併せて行なうこととし、特に「高校生の神楽甲子園」を通して全国各地の多様で特色のある文化芸能を発展させるとともに、神楽を保存継承する高校生と日体大との交流を図ることとしています。

### (協定の主な内容)

- ・相互の学校・施設における教育・研究及び課外活動に関すること
- ・相互の教職員の交流又は指導員の派遣に関すること
- ・相互の学生・生徒・児童・園児の交流に関すること
- ・相互の施設利用に関すること

### (協定期間)

協定締結の日から平成 32 年 3 月 31 日までとし、期間満了の 3 か月前までに双方の特段の意思表示がない場合には、さらに 1 年更新し、以降この例による。

### (協定調印式)

平成 31 年 3 月 27 日 (水) 午前 10 時 (クリスタルアージュ小ホール)

